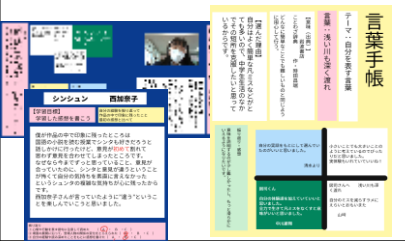
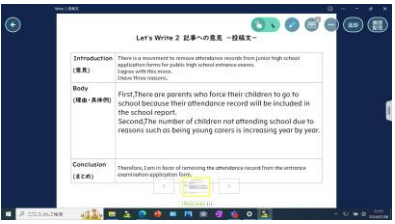


リーディングDXスクール事業【実践事例】

※京都市立八条中学校（京都府）

【取組内容】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用①」

- クラウドを活用した一人一人の子どもが意見を出しやすい授業実践にチャレンジ、成果のあった取組と今後の課題について教職員間で共有する際、クラウドを最大限活用した。昨年度の取組も閲覧することができるので、新着任した教職員もクラウドを通してアイデアを得ることができる。
- 1学期は「共有」、2学期は「個別最適化」、3学期は「個別最適化」と「共有」をキーワードにした授業を実践し、教科を超えて交流することで、全教職員の授業力の向上を図った。（教職員間で共有した取組実践） ※一部抜粋

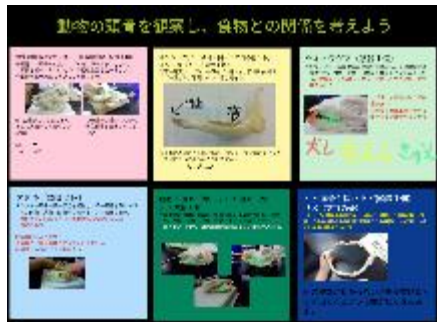
共有	個別最適な学び	教科・学年	取組の様子	取組の内容 (どのような場面でICTを活用し成果があったか)	課題
○	○	国語 1年		【取組】 毎単元で、学習のまとめを学習支援ソフトで自分の考えを整理し、今後の学習や生活にどのように生かしていきたいのかを考えさせて積み上げることができた。 【成果】 授業内の交流学习で他の生徒からもらったアドバイスシートや、自分が他の人に送ったアドバイスシートも同じテキストにまとめることで、交流の中での学びを評価することができた。	交流時にタブレット端末を見て話したり、聞いたりする場面が多く、相手を意識しない場面が多く見られた。交流方法に「相手意識を持つ」という工夫が必要であると考え。
○	○	数学 1年		【取組】 自分の考えを学習支援ソフトの提出箱を用いて提出し、学習支援ソフトにある「選択・比較」機能を用いて、それぞれの生徒の答えや考え方を画面に映すことで、全体で共有し、再度個人で考える時間を設けた。 【成果】 他者の考えを受けて自分の考えの変容を感じたり、改めて自分の考えが良いと思いながらも、一つの手段として他者の意見も取り入れようとしていた姿が見られた。	一度に多くの意見を比較しようとすると、一つ一つの画面の大きさが小さくなってしまいうので、こちらでいくつかに分類してから示す必要があった。
	○	英語 3年		【取組】 自分の興味がある記事について、投稿文を作成。インターネットでニュースを調べ、興味を持った記事をパラグラフライティングの形式に則って学習支援ソフトに英作文し、提出する。 【成果】 ネット環境で多くの情報があり、選択肢が多いので、自分の興味がある記事を選びやすい。そのため、生徒のモチベーションが上がり、熱心に取り組むことができる。Google翻訳を使用することで、英作文へのハードルは下がっている。	Google 翻訳を使うと作文のハードルは下がるが、一から英作文する力はつかない。そのため、英作文の後は暗記して表現を学んだり、タブレットを使わずに辞書のみで英作文をするなど、バランスも必要。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

※京都市立八条中学校（京都府）

【取組内容】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用①」

（教職員間で共有した取組実践） ※一部抜粋

共有	個別最適な学び	教科・学年	取組の様子	取組の内容 (どのような場面でICTを活用し成果があったか)	課題
○		理科 1年		【取組】 ①頭骨標本を数種類ずつ配置。 ②生徒たちは5分ずつ、ローテーションで班ごとに机を移動し、それぞれのテーブルのミッション（門歯、犬歯、臼歯の見分けや頭骨の特徴調べ）に取り組む。（学習支援ソフトを利用） ③歯の様子を観察する課題では生徒自らが頭骨を撮影して、その画像に気づきを記入していく。 【成果】 グループでお互いに協力しながら課題に取り組ませることで、理解に時間がかかる生徒も他のメンバーの様子をみながら取り組むことができた。	時間内に取り組むべき課題が多く、課題を精選する必要があった。
	○	保健体育科 1・3年		【取組】 バレーボールの直上パスの技能習得に向け、動画を撮影し、自分で確認した。また、グループでアドバイスを出し合った。客観的に自分の動きを見ることができた。自分で考える改善点とアドバイスを受け入れることができていた。 【成果】 アドバイスを受け、実践することで、協働的な学びを実現させるだけでなく、技能習得までにかかる時間も短縮することができた。	十分な実践練習をする活動時間の確保が困難である。動画撮影を見る時間、実践練習の時間などを授業の1時間に収めようとすると実践活動時間が短縮される。
○	○	総合的な学習の時間 2年		【取組】 職業調べなど、インターネットを活用し、必要な情報を得る。収集した情報をパワーポイントを共同編集し、「チャレンジ体験」のプレゼンテーションを作成した。 【成果】 - 欠席生徒も、自宅で共同編集できるので、とても便利であった。 - インターネットを活用することで、多様な視点で情報が得られ、調べることができる。	学年全員でファイルを共有するので、誤作動で消えたり、移動したりすることがあり、生徒がなれるまでに時間がかかった